

【短報】屋外で発見されたホクベイコメクイゴミムシダマシ

ホクベイコメクイゴミムシダマシ (和名新称) *Cynaenus angustus* (LeConte) は、2012年にアジア初記録のゴミムシダマシ科甲虫として報告されたものである。これは北海道苫小牧港の植物検疫で中国大連から輸入されたダイズ粕から発見されたもので、北米カリフォルニア州を原産地とし、北米、中米、ヨーロッパ (ドイツ、スウェーデン) から記録される貯穀害虫であるが、スウェーデンでは屋外でも採集されているという (安藤・海老名, 2012)。

筆者のひとり山地は、岡山県備前市の山中でこれを採集したので報告する。

1♂, 岡山県備前市加賀美八塔寺, 20. VII. 2014, 山地採集, 秋田保管。

採集地は岡山県東部の吉備高原上面, 八塔寺山 (538 m) を含む山塊の一部, 標高約 350 m の落葉広葉樹二次林である。岡山市からは 40 km, 穀物輸入港である水島港からは 65 km 離れている。幹線道路からも離れているが大規模な施設でいえば岡山国際サーキットからは 3 km の地点である。

カラスザンショウの生木枯死部に殺虫剤を噴霧したところ, 見慣れないゴミムシダマシが 1 頭落下した。剥がれかけた樹皮の下からでてきたもので, 同時にサビマダラオオホソカタムシ *Dastarcus longulus* Sharp を採集することができた。

これを秋田は譲り受け, 上記の種であると同定した。交尾器の形態を含め, 安藤・海老名 (2012) の記載によく一致する。屋外で採集されたことから, すでに国内に広く帰化している可能性が考えられる。

文末ながら, 本種について種々ご教示いただいた安藤清志博士に感謝したい。

引用文献

安藤清志・海老名崇生, 2012. 輸入植物検疫で中国産ダイズ粕から発見されたアジア初記録のゴミムシダマシ科甲虫, *Cynaenus angustus* (LeConte). さやばねニューシリーズ, (5): 33-34.

(秋田勝己 514-0819 津市高茶屋 7-8-12-207)

(山地 治 701-1221 岡山市北区芳賀 5116-11)

【短報】岡山県におけるヒメセマルガムシの初記録

ヒメセマルガムシ *Coelostoma orbiculare* (Fabricius, 1775) (図 1) は, 旧北区に分布する半水生のガムシである (林, 2008; 林ほか, 2013)。筆者は, 岡山県初記録となる本種を採集したので報告する。なお, 本種の外見はコガタセマルガムシ (仮称)

に類似することから (林ほか, 2013), 採集個体は雄交尾器の確認により同定した。

3exs., 岡山県加賀郡吉備中央町加茂市場, 4. V. 2013, 筆者採集・保管。

本種が確認されたのは, ため池の上流側に位置する樹林に囲まれた放棄水田であった (図 2)。この放棄水田は遷移が進行しており, 点在する小さな水たまりの水際を歩く個体が確認された。

末筆ではあるが, 岡山市の山地治氏, 倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士には, 岡山県における本種の記録を確認する上でご協力いただいた。この場をお借りして厚くお礼を申し上げる。

引用文献

林 成多, 2008. 日本産セマルガムシ属の同定と分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (11): 93-102.

林 成多・池竹弘旭・戸田尚希, 2013. 愛知県で確認されたセマルガムシ属の一種について. さやばねニューシリーズ, (9): 16-18.

(渡部晃平 700-8617 岡山市北区津島京町 3 丁目 1 番 21 号 株式会社エイト日本技術開発)

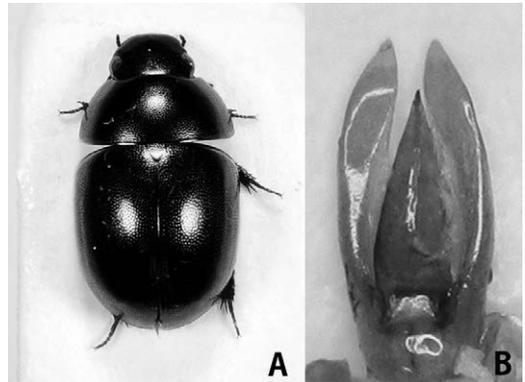


図1. 岡山県産ヒメセマルガムシ. A, 雄背面; B, 雄交尾器。



図2. 本種の生息環境。